

## 創立記念日によせて

10月15日は鳥羽高校の創立記念日です。昭和58年(1983年)10月15日、京都府の条例により京都府立鳥羽高等学校が設置され、翌年4月1日に開校して以来、今年で43年目を、あわせて、明治33年(1900年)に開校した鳥羽高校の前身である京都府第二中学校(京二中)の創立からは126年目を迎えました。開校以来の長い歴史をもつ普通科と、平成29年(2017年)に設置し今年で10期生を迎えた専門学科グローバル科の両学科が、今、特色のある教育を展開しているところです。

本校の校風である「文武両道」と「質実剛健」は京二中から受け継いだものです。第1回全国中等学校優勝野球大会(現在の夏の甲子園大会)での優勝、日本で初めての学校スキー研修の実施、学校吹奏楽史草創期でのバンド「楽隊部」の活動など、全国に先駆けて学業とスポーツ・文化の活動の両立を図ってきた学校が京二中であり、本校はその伝統を誇り高く継承して今に至っています。

鳥羽高校は、昭和59年度に第1期生を迎えて教育活動をスタートさせ、既に14,445名の卒業生を輩出しています。創立以来、鳥羽高校には、生徒一人一人が規律ある学校生活を送りながら、誠実に努力を重ね、互いに切磋琢磨しながら成長していく伝統が受け継がれています。挨拶を大切にし、人権意識を高く持ち、何事にも真摯に向き合い、自らの可能性を信じて最後まで粘り強く挑戦し続ける姿勢は、本校生徒の大きな特長です。この豊かな風土は、生徒自身が主体的に行動し、その積み重ねを大切にしてきたことで培われてきました。そして、この風土こそが、学習活動はもとより、学校行事や部活動、さらには全国・世界の舞台での活躍を支える土壌となっていると確信しています。

私たちは今、かつてない速度で進展するグローバル化や技術革新、生成AIの驚異的な発達、さらには地球規模の環境問題や国際情勢の変化など、多様かつ複雑な課題に直面しています。このような先行きが見通しにくい時代をたくましく生き抜くためにも、鳥羽高校で培う、自他の尊厳を自覚した心豊かな人間性(Humanity)、自らの課題を自ら解決する意志力と実践力(Self Command)、国際感覚を身につけ21世紀を主体的に生きぬく創造性(Pioneer Spirit)が大切だと考えています。そして、みなさんには、日々の学校生活の中に疑問を見出し、そこから問いを立て、粘り強く考え抜き、やり遂げることによって、生涯にわたって自ら成長しようとする姿勢を培い、さまざまな困難や課題に、多様な他者と協働して向き合ってほしいと思います。

みなさんが、悠久の歴史と文化を誇る京都での学びを大切にしながら、高い志を持って主体的に人生を歩み、自らと他者、そして社会の幸福の実現に向けて挑戦を重ね、新たな歴史の1ページを力強く拓いてくれることを心から願っています。

令和8年10月15日

京都府立鳥羽高等学校長 田中 誠樹